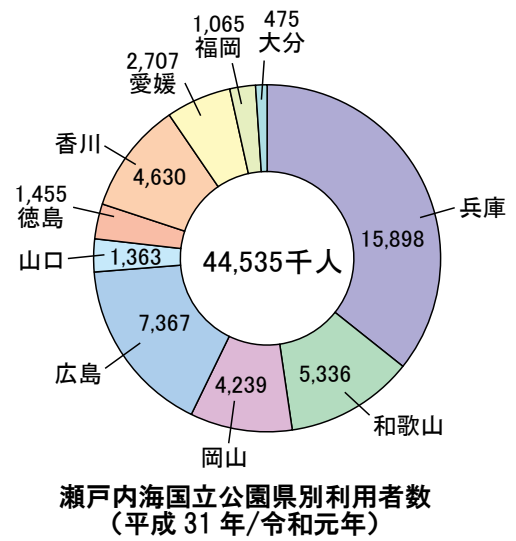


1 瀬戸内海の概況

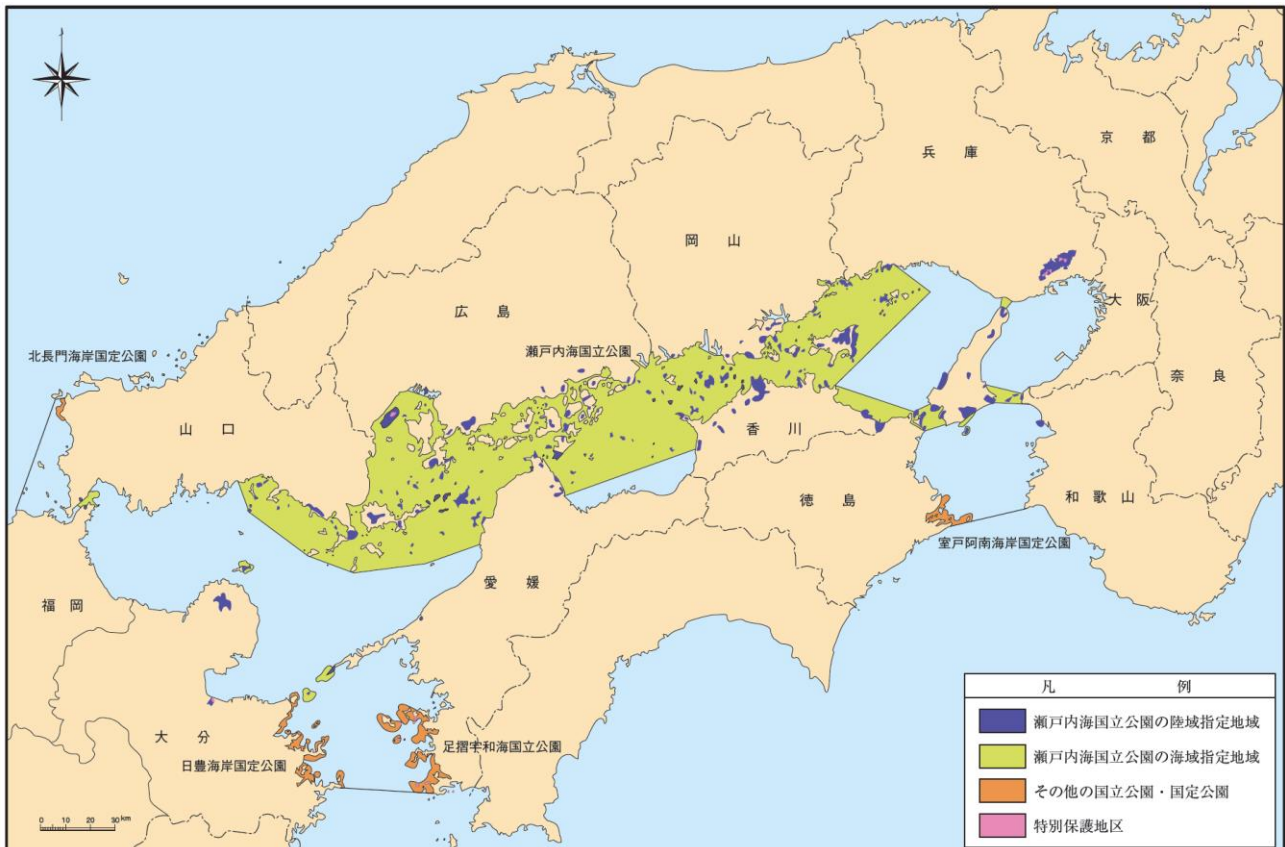
表 1-11 利用者数の多い国立公園(平成 31 年/令和元年)

順位	公園名	利用者数 (千人)	国立公園全体に 占める利用者数 の割合(%)	平成30年 位
1	富士箱根伊豆	132,520	35.9	1
2	瀬戸内海	44,535	12.1	2
3	上信越高原	23,720	6.4	3
4	日光	16,069	4.4	5
5	阿蘇くじゅう	16,057	4.3	4
6	吉野熊野	14,093	3.8	6
7	秩父多摩甲斐	13,393	3.6	7
8	大山隠岐	12,718	3.4	9
9	霧島錦江湾	11,721	3.2	8
10	支笏洞爺	10,514	2.8	10
上位10国立公園の合計		295,340	80.0	
34国立公園全体の合計		369,146	100	

出典：「自然保護各種データ」（環境省資料）より作成



出典：「自然保護各種データ」（環境省資料）より作成



- 注) 1. 「瀬戸内海」沿岸域の国立及び国定公園を図示した。
 2. 特別保護地区は「瀬戸内海」海域に係わる地区のみを図示した。

出典：環境省資料より作成

図 1-7 主要自然公園配置図